

市民活動・ボランティア

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION & VOLUNTEER NEWS



◆発行◆
514-0009
津市羽所町700番地
アスト津3階
みえ市民活動ボランティアセンター
Tel.059-222-5981
Fax.059-222-5971
E-mail seiknpo@pref.mie.jp
NPO室のホームページ
<http://www1.mienpo.net/npot>
三重県のホームページ
<http://www.pref.mie.jp>

市民活動・ボランティアニュースは
こちらにあります!

【地域の市民活動センター等】
●津市●みえ市民活動ボランティアセンター／津市市民活動センター／分部食堂／(有)デザインオフィス萩野 ●桑名市●桑名市市民活動支援センター ●四日市市●四日市市市民活動センター／寺子屋プロジェクト／みえチャレンジプラザ ●亀山市●亀山市市民協働センター ●鈴鹿市●市民ネットワークすずかのぶどう ●松阪市●三重中央大学／松阪市市民活動センター ●伊勢市●特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会／いせ市民活動センター ●鳥羽市●鳥羽NPOネットワークセンター・結 ●名張市●名張市立図書館／名張青年会議所／皇学館大学名張キャンパス／名張市総合福祉センター／エコリゾート赤目の森／名張市市民活動支援センター／くらしの情報センター同夢 ●伊賀市●ウィリアム・テルズアップル まちづくりセンター／伊賀市中央公民館／伊賀市立図書館／上野青年会議所／伊賀市市民活動支援センター ●明和町●めいわ市民活動サポートセンター ●南伊勢町●南伊勢町民文化会館 ●紀宝町●紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市町村社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店／三重銀行各店／東海労働金庫各店／第三銀行各店／メディカル光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール／三重県地域機関(各県民センター)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南)／三重県栄町庁舎(情報公開窓口)／三重県総合医療センター／三重県立一志病院／三重県立志摩病院／三重県立こころの医療センター／斎宮歴史博物館／三重県立博物館／三重県立図書館／三重県生涯学習センター／三重県男女共同参画センター『フレンドみえ』／三重県人権センター／三重県身体障害者総合福祉センター／三重県環境学習情報センター／各市町役場

日本子ども虐待防止学会第13回学術集會みえ大会 市民実行委員会



2007年12月に、津市で「日本子ども虐待防止学会第13回学術集會みえ大会」が開催されます。今回の虐待防止学会では、「虐待」を特殊なものと考えず、誰でも状況によって起こしうることを市民の皆さんに知ってもらうために、「虐待防止市民実行委員会」も立ち上げました。

この市民実行委員会は「子どもの権利条約」を中心に据え、子ども達が自らの権利を知るとともに自らパワーアップし、子どもの権利の社会への発信を考えたプログラムを企画しています。ここの市民実行委員会には、子育て支援NPOや行政職員、民生児童委員などが関わっており、この「学会」を機会に地域でのネットワークが構築され、子ども達が健やかに育つ地域社会の実現に近づきたいと思っています。

また、11月は児童虐待防止推進月間です。市民実行委員会では、子ども虐待防止のオレンジリボンキャンペーンにも参画しています。

市民実行委員会の市民プログラムとオレンジリボンキャンペーンイベントの一部を紹介します。この他にもたくさんの企画をご用意していますので、ぜひご参加ください。

【大会プレ企画：映画「長い散歩」上映会と奥田瑛二監督トークショー】

●とき／12月13日(木)17:00～20:30 ●ところ／三重県総合文化センター 中ホール
●参加費／2,000円(事前申込必要)

【世界から学ぶ子育て支援】

第1分科会「ニュージーランド」

●とき／12月13日(木)13:00～15:30
●ところ／三重県総合文化センター内生涯学習センター 中研修室

第2分科会「北欧」

●とき／12月14日(金)10:00～12:30
●ところ／三重県人権センター 多目的ホール

第3分科会「カナダ」

●とき／12月14日(金)13:30～16:00
●ところ／三重県人権センター 多目的ホール
●参加費／各分科会2,000円(事前申込必要)

【地域・学校で子どもの人権を考えるミニシンポジウム】

●とき／12月14日(金)19:00～21:00
●ところ／アスト津3階(津駅前) イベント情報コーナー
●参加費／500円(事前申込必要)

【虐待防止専用電話】

●とき／12月14日(金)～12月15日(土)
両日10:00～18:00
●申込み・問い合わせ／市民実行委員会事務局
特定非営利活動法人三重県子どもNPOサポートセンター
Tel.059-232-0270
<http://www.shimin-gyakutaiboushi.org/index.html>

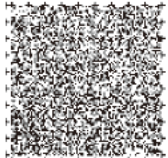
**オレンジリボン
キャンペーン**

【児童虐待防止の
オレンジリボンキャラバン】

●とき／11月10日(土)
11:00～15:30
●ところ／津市お城西公園
(津市役所、リージョンプラザ前)
お城西公園周辺を約3kmをパ
レードします。当日参加大歓迎!

SPコード

右にある図形は「SPコード」と呼ばれる二次元コードです。視覚に障害を持つ方が「スピーチオ」と呼ばれる専用の読取機を使用することで、ここに記録されている情報を音声で聞くことができます。



情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。
ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。



9月に愛知県で開催された全国ボランティアフェスティバルに参加してきました。今回はその2日目の分科会の話をしようと思います。

私が参加した分科会のタイトルは「ボランティアって何だろう?」でした。いまさらかなあ…と迷いつつも、この分科会を担当された団体、講師の方に関心があったので参加でした。

内容は、ワークシートを使って個人ワークとグループワークの2時間半だったのですが、その中で、「ボランティアの4原則」をもとにした設問に5段階で答え、それでグラフを描いた時、自分が「ボランティア」について理解していると思っていたことは違うグラフが描けてしまいました。アラアラと思いつつ、なぜそう思ったかを考える時間も与えてもらったので、ある出来事を思い出し、ああこんなに自分の中で引っかかっていたんだあと、あらためてグラフをしみじみと眺めてしまいました。その「気になっていたこと」を解決できたわけではありませんが、自分への影響度を客観的に知ることができ、私にはとても有意義な分科会でした。

「ボランティア」についての考え方には正解が幾つもあります。それゆえ、知らず知らずのうちにその時の自分の思いや考え方が言動や行動に出てしまっていることもあるでしょう。だからこそ、今の自分がどう考え、なぜそう思うのかを知る機会、方法を持つことをもっと大切にしなければいけないなあと感じる機会でもありました。

みなさんへのお知らせ

特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ

特定非営利活動法人(NPO法人)申請は4団体ありました。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部NPO室に備え置いてあります。

●認証申請団体

(1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地

【1】(1)アイ・コラボレーション伊賀(2)岡本幸助(3)伊賀市中友生1240番地

【2】(1)なのはな音楽療法研究会(2)藤田雅代(3)桑名市新屋敷92番地

【3】(1)After School 夢(2)鈴木寿子(3)津市久居新町2809番地コーポ新町A101号

【4】(1)三重福祉事業支援機構(2)各務 亨(3)四日市市西日野町3257番地
(平成19年9月10日~平成19年10月9日申請分)

●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

三重県新エネルギー普及促進協会(平成19年9月4日)

ありがとう.三重(平成19年8月31日)

(平成19年9月10日~平成19年10月9日届出分)

イベントスケジュール



【四日市まんなか子ども劇場】

月に1度の絵本のひろばとヘルシーランチ

●とき/11月1日(木)、12月4日(火)11:00~

●ところ/四日市まんなか子ども劇場 みんなの居場所「きらり」

●参加費/ランチ900円、利用料300円(会員無料)

子育てサロン「カフェまんなか」

●とき/11月20日(火)10:30~12:30

●ところ/四日市まんなか子ども劇場 みんなの居場所「きらり」

●参加費/一般500円、会員100円 保育あり(有料)

●内容/子どもは保育に預けて、お母さんだけのおしゃべりの場。

こどもまつりく笛師九兵衛さんがやってくる

●とき/12月1日(土)13:00~ ●参加費/500円(2才以上)

●ところ/四日市市立中部西小学校体育館

●内容/琴の演奏で始まり、笛師九兵衛さんのプロのコンサート・ワークショップ、遊びのコーナーなど。

●問い合わせ先/四日市市西町15-16 四日市まんなか子ども劇場 Tel.&Fax.059-351-6670

国際理解教育研修会 ちがうっていいな

●とき/11月2日(金)10:00~16:30

●ところ/三重県総合教育センター ●参加費/無料

●内容/午前の部は「教師海外研修プログラム(JICA)でマラウイを訪ねて」をテーマとした全体会。午後の部は分科会。

●募集人数/各会場先着80人

●申込方法/郵送、Fax、電話、E-mail。

●問い合わせ先/514-0009 津市羽所町700 アスト津3

階 三重県生活部国際室(担当:村山) Tel.059-222-5974
Fax.059-222-5984 E-mail kokusai@pref.mie.jp



すばらしい多度の自然を見つめましょう PART VI

●とき/11月3日(土)14:00~

●ところ/いなべ市多度町総合支所3階 議場

●内容/第1部は多度東小学校、いなべ市立小十社小学校、多度小学校による調査研究発表。第2部は多度町在住の岐阜経済大学教授・理学博士、森誠一さんによる講演。

●問い合わせ先/NPO法人 多度自然育成の会(理事長:水谷雅恒) Tel.0594-48-5659・4881

家庭教育講演会 親だからできること、できないこと

~子どもが社会とつながり育つために~

●とき/11月4日(日)受付12:30 13:00~16:00

●ところ/三重県生涯学習センター 大研修室

●内容/講師は若者の自立・就労支援に取り組むNPO法人「育て上げ」ネットの工藤啓さんです。

●募集人数/100人(申込多数の場合、抽選)

●託児締切/10月24日(水)(託児無料、10人程度)

●申込方法/E-mail(参加者氏名・連絡先・託児の有無を記入)

●問い合わせ先/三重県教育委員会事務局 生涯学習室 社会教育グループ Tel.059-224-3322

E-mail shogaku@pref.mie.jp

福祉・家事援助サービス推進大会

“ささえあい”~ひとりひとりが輝いて生きるために~

●とき/11月9日(金)10:00~

●ところ/三重県総合文化センター中ホール

●内容/シルバー人材センターの福祉・介護・育児支援活動紹介、手づくり作品即売、ビデオ「シルバー世代の子育て支援」上映のほか、恵泉女学園大学・大学院教授の大日向雅美さんの講演を開催。

●問い合わせ先/(社)三重県シルバー人材センター連合会

Tel.059-221-6161



外国住民とのパートナーシップを考える シンポジウム+懇親会

—多文化共生社会の実現に向けて—

●とき/11月10日(土)11:00~14:30

●ところ/鈴鹿サーキット フラワーガーデンホテル

●参加費/4000円(懇親会含む) ●募集人数/150人

●内容/公、民間、市民が連携して多文化共生モデルについて考えます。基調講演は(株)三井物産社会貢献室の柴崎敏男さん。

●主催・申込・問い合わせ先/愛伝舎(担当:坂本)

Tel.&Fax.050-3532-9911

E-mail aiden@hotmail.co.jp



日本語ボランティア養成講座2007 in伊勢

●とき/11月10・11日(土・日)10:00~15:00

●ところ/伊勢商工会議所4階ホール(駐車場有)

●参加費/一般 10日500円・11日300円

伊勢市国際交流協会会員 10日300円・11日200円

●内容/10日は日本語学習支援ボランティアを始めたい人向けの入門編、11日はスキルアップ編の養成講座を開催します。

●持ち物/昼食 ●募集人数/各50人

●申込方法/電話受付のみ。定員になり次第、締切。

●問い合わせ先/伊勢市役所 市民参画交流課内 伊勢市国際交流協会事務局 Tel.0596-21-5549



スペシャルオリンピックスの日(SOデイ)イベント ハイキング&クリーン活動

●とき/11月11日(日)11:00~15:00

●ところ/鳥居道山キャンプ場(菟野町) ●参加費/500円

●内容/スペシャルオリンピックス(知的発達障がいのある人たちに日常的なスポーツトレーニング等を提供する国際的なスポーツ組織)のアスリートとハイキングしませんか?どなたでも参加できます。

●申込方法/氏名、年齢、連絡先を明記し、下記まで。

●申込先/Fax.059-356-1776

E-mail special_mie@hotmail.com

●主催・問い合わせ先/スペシャルオリンピックス日本・三重

Tel.080-3623-8228



第8回あやまチャリティーゴルフ大会

●とき/11月15日(木)8:30~スタート

●ところ/阿山カンツリー倶楽部

●参加費/セルフ10000円 ●募集人数/30組120人

●内容/競技方法は18ホール、ストロークプレー(Wペリア方式上限40)。チャリティーホールでワンオンしなかった場合、寄附500円をお願いします。終了後、パーティー形式で表彰式を開催。

●申込・問い合わせ先/伊賀市社会福祉協議会阿山支所

Tel.0595-43-1854 Fax.0595-43-1577 E-mail

aya-vac@hanzou.or.jp

若者就労支援親向けセミナー

●とき・ところ/11月17日(土)13:30~16:30 四日市市総合会館7F第1研修室(市役所西隣)

11月25日(日)13:30~16:30 伊勢市労働福祉会館3F第2会議室(県伊勢庁舎東隣) ●参加費/無料

●内容/若者の就労に向けて、家族ができる支援について考え、また、同じ課題を持つ家族同士の交流を行います。

●問い合わせ先/三重県若者自立支援センター Tel.059-246-1212 E-mail wakamono@pref.mie.jp



全国青少年健全育成強調月間活動 青少年健全育成の集い

●とき/11月17日(土)14:00~16:00

●ところ/ラスクエア四日市イベントスペース

●内容/おもちゃの病院、ケータイ安全教室(14:30から約1時間)、「津に来て戦隊 ツヨインジャー」ショー、ペンシルバルーンで動物などを作るバルーンパフォーマンスを行います。

地球温暖化対策講師養成セミナー

●とき/11月17日(土)14:00~16:00(年間10回開催)

●ところ/アスト津3階 ●参加費/無料 ●募集人数/約15人

●内容/地球温暖化対策に関する国連や各種の国際的取り組みを理解し、市民が草の根スタイルで取り組むための講師を養成。第1回は受講者、講師の顔合わせ、セミナーの実施要項の説明。「地球

温暖化は技術で救える(その1)」。講師は谷山鉄郎さん(中部大学・大学院教授、三重大学名誉教授)、清水幸丸さん(名古屋産業大学・大学院教授、三重大学名誉教授)、児玉克哉さん(三重大学・大学院教授)、藤岡和美さん(経済産業省・エネルギーコミュニケーター、元久居市長)。

●問い合わせ先/清水幸丸 Tel.&Fax.059-231-1633

E-mail shimizuy@zvtv.ne.jp



あしながPウォーク10in津

●とき/11月18日(日)9:30受付開始 10:00スタート(雨天決行) ●ところ/津偕楽公園SL前

●参加費/大人500円、中・高校生300円、小学生以下100円

●内容/あしなが育英会から奨学金を借りている遺児学生が中心となって企画、運営をしています。世界の遺児たちの現状を知ってもらえるよう、チェックポイントに工夫してあります。

●問い合わせ先/矢野晶大 Tel.090-4266-9962



『オレの心は負けてない』上映会in三重

●とき/11月18日(日)14:00~

●ところ/みえ県民交流センター(アスト3階)

●参加費/一般1000円、中・高生500円

●内容/旧日本軍「慰安婦」であったことを、在日でただひとりカムアウトしておられる宋神道(ソ・シンド)さんの正義を求める裁判を追ったドキュメンタリー。13:30から無料上映を行うビデオ『ひとりでもやるってば』は、提訴直前の彼女の思いを撮ったものです。

●問い合わせ先/宮西いづみ Tel.090-1239-1410

三重県ことばを育てる親の会 言語療育訓練事業

●とき/11月18日(日)【相談会】10:00~15:00

【研修会】10:00~12:00

●ところ/四日市市勤労者総合福祉会館

●内容/相談会はことばの心配がある幼児・児童とその保護者対象。待ち時間を無くすために事前予約をおすすめします。学習会では保護者、関係教職員、関係施設職員等が、相互理解を深めながら「ことば」の発達支援について必要な知識を学習します。

●問い合わせ先/三重県ことばを育てる親の会(代表:杉谷昇一) Tel.0593-78-9541(事務所)、059-231-2386(自宅)



秋のドイツ料理教室

●とき/11月18日(日)13:30~15:30

●ところ/食工房(津市羽所町700番地アスト津5階)

●参加費/材料費の実費 ●応募締切/11月14日(水)

●内容/メニューは鶏肉のサラダ、ケーニヒスベルク地方の肉団子 ケッパーソースかけ、塩ジャガイモと赤キャベツ、焼きりんご。

●問い合わせ先/向井明子 Tel.059-232-0594

E-mail mukai@zvtv.ne.jp ●主催/三重日独協会



みえ子育て支援緊急サポートネットワーク サポート会員養成講座

●とき・内容/11月19日(月)「保育サポーターの役割と心得」、11月22日(木)「子どもの病気」、11月26日(月)「子どもの心に寄り添う」、11月27日(火)「病児・病後児保育の必要性」、12月4日(火)「安全と事故」、平成20年1月12日(土)「子どもの栄養」「事業を円滑にすすめるために」、「保育の心-親を支える気持ち」。働きながらの子育てを支援するシステムです。詳細はお問い合わせを。

●ところ/三重郡川越町いきいきセンター 大研修室

●参加費/無料(託児有料、要予約) ●募集人数/50人

●問い合わせ先/【四日市北部・川越・朝日地域】

四日市北・川越・朝日地域センター Tel.&Fax.059-366-1938 E-mail smile_dropin@yahoo.co.jp



女性に対する暴力防止セミナー ～知っていますか?デートDV～

●とき/11月21日(水)13:00~16:10

●ところ/三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」1階多目的ホール(津市一身田上津部田1234) ●参加費/無料

●内容/若者の間の親密な関係に起こりやすい暴力「デートDV」防止に取り組んでいる山口のリ子さんの講演会とシンポジウム。

●募集人数/200人程度(先着順)

●託児締切/11月7日(0歳~未就学児 一人1000円)

●申込・問い合わせ先/三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」 Tel.059-233-1131 Fax.059-233-1135

E-mail frente@center-mie.or.jp



大人のためのキッズシアター 荒井良二さんトーク&チェコアニメ上映

●とき/11月22日(木)19:00~21:00

●ところ/伊勢進富座 ●参加費/前売2000円、当日2500円

●内容/人気絵本作家、荒井良二さんは、チェコアニメの大ファン!荒井さんセレクションのチェコアニメとトークをお楽しみください。

●申込方法/電話予約可能。

●主催・申込・問い合わせ先/青春キネマ館&キッズシアター上映実行委員会 Tel.0596-23-0839



ブラジル・ウィークinみえ

●とき/11月25日(日)~12月2日(日)

●ところ/アスト津3階 ●参加費/無料

●内容/期間中、「ブラジルと日本移民」写真展を開催するほか、11月25日(日)交流会、11月27日(火)ブラジルの料理教室(要申込)、11月29日(木)ブラジルの飲み物を知ろう!(要申込)などを企画。12月2日はBRAZIL DAY。ブラジル料理、パフォーマンス、講演会、交流会など内容もりだくさん。詳細はお問い合わせを。

●問い合わせ先/三重県国際交流財団 Tel.059-223-5006 Fax.059-223-5007 E-mail mief@mief.or.jp

ホームページ www.mief.or.jp

2007年度高次脳機能障害者(児)リハビリテーション教室

●とき/12月2日(日)13:30~15:30

●ところ/三重県身体障害者総合福祉センター大研修室(津市一身田大古曾670-2) ●参加費/無料

●内容/高次脳機能障害に関する講演等。

●募集人数/先着50人 ●申込方法/電話、Fax、E-mail。

●申込・問い合わせ先/三重県身体障害者総合福祉センター相談支援グループ Tel.059-231-0037 Fax.059-231-0694 E-mail tamori-m@mie-reha.jp

【MCサポートセンターみっくみえ】

みんなで子育て研修会~シンポジウムと体験分科会~

●とき/【第1回】12月9日(日)13:30~16:00

【第2回】12月16日(日)10:00~16:00

●ところ/四日市市文化会館 ●参加費/無料

●内容/【第1回】はシンポジウム「今、子育ては誰がするの?」【第2回】はワークショップ「人を和ませる言葉のかけ方」と体験分科会。

●募集人数/100人 ●応募締切/11月30日(金)

●申込方法/氏名、参加日、希望分科会(第3希望まで)を明記の上、郵便、Fax、E-mailで下記まで。

11月19日(いいくじの日)子育てほっとダイヤル

~虐待予防は子育て不安の解消から!~

●とき/11月19日(月)9:00~24:00

●内容/0570-011-077は子育ての悩みなどについての無料電話相談。助産師、心理カウンセラーなどがお受けします。

●申込・問い合わせ先/511-0851 桑名市西別所302番地 特定非営利活動法人 MCサポートセンターみっくみえ

Tel.0594-21-4935 Fax.0594-22-9835



ネットワークのよびかけ

中間支援組織担当者ネットワーク交流会

~顔の見えるつながりを作しませんか?~

中間支援、NPO支援に関わる人が集まり、共通の悩みや疑問を出し合っ、意見交換する場です。隔月で協働をテーマに勉強会もしています。初めての方でも気軽に参加してもらえます。

【交流会】●とき/11月6日(火)13:00~14:00

●ところ/みえ県民交流センター交流スペース(アスト津3階)

【協働勉強会】●とき/12月5日(水)13:30~16:30

●ところ/みえ県民交流センター交流スペース ●参加費/無料

●問い合わせ先/W. T. Aまちづくりセンター Tel.0595-24-7612

「NPOと指定管理者制度」情報交換会・勉強会

市民フォーラム21・NPOセンター代表理事・後 房雄さんの発題の後、質疑・情報交換を行います。

●とき/11月12日(月)14:00~17:00

●ところ/アスト津3階 みえ県民交流センター 交流スペース

●申込・問い合わせ先/三重県生活部NPO室(担当:古川)

Tel.059-222-5981

バリアフリーマップ作成について

三重国際交流団体連絡会(MIEC21)では、在住外国人のためのバリアフリーマップ作成を企画しています。在住外国人の方々が一番知りたい情報を掲載したいと思っています。困っておられる情報がありましたら下記までお知らせください。

●問い合わせ先/514-0009 津市羽所町700(アスト津3階)みえ市民活動ボランティアセンター メールボックス21 MIEC21事務局 Fax.059-227-2392

E-mail mkomoda@zvtv.ne.jp

平成19年度三重県UDアドバイザー養成講座

「建物や道路、公園、バスや電車などが、いろんな人にとって使いやすいまちにしていこう」と「ユニバーサルデザインのまちづくり」です。講座修了者には三重県認定のUDアドバイザー資格を授与。(出席講座数は主催者によって異なります。詳細はお問い合わせを)

【UDうれしの】

●とき/11月11・18日、12月2・9日(すべて日曜)9:00~16:30 ●ところ/松阪市嬉野生涯学習センター

●参加費/無料 ●募集人数/先着30人

●問い合わせ先/515-2324 松阪市嬉野町 UDうれしの(担当:安部) Tel.&Fax.0598-42-2288

【ユニバーサルデザイン志摩】

●とき/11月25日、12月9日、平成20年1月13・27日(すべて日曜)9:00~16:00 ●参加費/無料

●会場/磯部町生涯学習センター(磯部町迫間878-9)

●募集人数/先着30人 ●応募締切/11月3日(土)

●申込方法/郵送またはFax。手話通訳希望及び車椅子利用の方はその旨お書きください。

●申込・問い合わせ先/517-0207 志摩市磯部町下之郷221「ユニバーサルデザイン志摩」事務局 前田秋子方 Tel.&Fax.0599-55-0668

フリーマーケット情報

親子でフリーマーケット

- とき／11月10日(土) 10:30～13:00
- ところ／津お城西公園 ●参加費／500円
- 内容／10月27日(土) 16:30～17:30, アスト津3階にて説明会とブース抽選を開催。
- 募集人数／親子ブース20、グループ(子どもだけで可) 10
- 申込・問い合わせ先／津子どもNPOセンター Tel.059-231-0012 Fax.059-231-0013

助成金 ニュース

(株)三重銀行「NPOサポートファンド」

- 受付締切／11月16日(金)消印有効
- 助成の対象となる団体／三重県内に主な活動拠点を置き、「環境保全」を主な活動分野とするNPO(法人格の有無は問いません)。
- 助成の額／総額100万円を上限として10団体を目安に配分(ただし、1団体当たり上限20万円)
- 問い合わせ先／(株)三重銀行 510-0087 四日市市西新地7-8 Tel.059-354-7102 Fax.059-351-7066
- E-mail mir@miebank.co.jp
- ホームページ <http://www.miebank.co.jp/mir/>

JT 青少年育成に関するNPO助成事業

- 受付締切／11月20日(火)消印有効
- 助成の対象となる団体／非営利法人で、平成19年9月30日時点で法人として1年以上の活動実績を有する法人。
- 助成の対象となる活動／非営利法人が国内において、地域社会の核となって実施する青少年(小学生から高校生まで)の健全育成につながる事業。例)学校林の保全事業、自然体験活動、異世代交流事業、青少年が参加するまちづくり事業、障害児支援事業、不登校・ひきこもり児童支援事業など。
- 助成の額／年額上限150万円。40件程度。
- 問い合わせ先／日本たばこ産業株式会社 CSR推進部 社会貢献室 105-8422 東京都港区虎ノ門2-2-1JTビル Tel.03-5572-4290 Fax.03-5572-1443 ホームページ <http://www.jti.co.jp/JTI/contribution/Welcome.html>

トヨタ財団地域社会プログラム

- 受付締切／11月20日(火)消印有効
- 助成の対象となる活動／基本テーマ「地域社会の再構築を目指して・支え合うくらしいのち」
- 【活動助成】地域社会の再構築と活性化を目指し、地域に誇りをもつ人々が主体となった実践的なプロジェクトへの助成。日本全国からの応募を対象としますが、本年度は「九州7県、四国4県」を「助成重点区」とします。1件あたり上限200万円。
- 【成果普及助成】「(A)活動記録の出版」…地域社会の再構築と活性化を目指した活動の具体的な成果を、他の地域で類似な実践をしている人たちと比較、共有することを目的とする。1件あたり上限100万円。
- 「(B)広域ネットワーク」…地域社会の再構築と活性化を目指した活動の経験からたくわえられたものを地域間で共有し、具体的な問題解決に資する、協働と連携を支える広域的な活動への助成。1件あたり上限400万円。
- 問い合わせ先／(財)トヨタ財団地域社会プログラム係 163-0437 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル37階 私書箱236号 Tel.03-3344-1701 ホームページ <http://www.toyotafund.or.jp/>
- ※特定課題として「離島助成」「ユース助成」があります。詳細はホームページ参照。

ニッセイ財団

- 受付締切／11月30日(金)
- 【児童・少年の健全育成助成】
- 助成の対象となる団体／「元気づけ活動」や「地域の子育て活動」、「フリースクール活動」を地域活動の一環として定期的・日常的に継続して取り組んでいる民間の団体・グループ。
- 助成の対象となる活動／分野1. 自然と親しむ活動。分野2. 異年齢・異世代交流活動。分野3. 子育て支援活動。分野4. 療育支援活動。分野5. フリー

スクール活動。

- 助成の額／1団体30～60万円(物品助成)
- 【生き生きシニア活動顕彰】
- 助成の対象となる団体／高齢者が主体となって行う多世代が関わる地域貢献・社会貢献活動を定期的・日常的に取り組んでいる民間の団体・グループ。
- 助成の対象となる活動／高齢者による児童・少年の健全育成活動。2. 高齢者による青年自立支援活動、障がい者支援活動。3. 高齢者による高齢者支援活動。4. 高齢者・壮年・青年の協業による地域奉仕活動。
- 助成の額／1団体 5万円(一律)(資金助成)
- 応募方法／【児童・少年の健全育成助成】は希望調書を生活部青少年・私学室へ【生き生きシニア活動顕彰】は健康福祉部地域福祉室へ「申請書」を提出。募集締切後、三重県からの推薦団体を決定し、連絡。推薦決定した団体には、助成申請書を提出。
- 問い合わせ先／【児童・少年の健全育成助成】三重県生活部青少年・私学室 514-8570 津市広明町13番地 三重県庁8階 Tel.059-224-2404 Fax.059-224-2408
- 【生き生きシニア活動顕彰】三重県健康福祉部地域福祉室 514-8570 津市広明町13番地 三重県庁4階 Tel.059-224-2256 Fax.059-224-2919
- 【両助成】ニッセイ財団(財団法人日本生命財団 助成事業部) 541-0042 大阪市中央区今橋3丁目1番7号 日本生命今橋ビル4階 Tel.06-6204-4014 Fax.06-6204-0120
- ホームページ jidou-syounen@nihonseimei-zaidan.or.jp

第10回日本水大賞・2008日本ストックホルム青少年水大賞

- 受付締切／11月30日(金) 郵送の場合当日消印有効
- 対象となる団体・活動／【水大賞】水循環系の健全化に寄与すると考えられる活動分野における諸活動。(研究、技術開発を含む)個人、法人、グループの種別、年齢、職業、性別、国籍等を問いません。
- 【日本ストックホルム青少年水大賞】高校生または、それに準ずる学校の生徒(クラブ)による水環境研究活動。
- 賞の内容／【水大賞】大賞200万円・各大臣賞50万円・市民活動賞30万円・国際貢献賞30万円・奨励賞10万円・審査部会特別賞10万円
- 【日本ストックホルム青少年水大賞】大賞20万円 および国際コンテストへの参加費用・奨励賞10万円・審査部会特別賞10万円
- 問い合わせ先／日本水大賞委員会事務局:(社)日本河川協会 102-0083 東京都千代田区麹町2-6-5(担当:宝池、佐藤) Tel.03-3238-9771 ホームページ <http://www.japanriver.or.jp/>

数納(かずのう)賞

- 受付締切／11月30日(金)
- 賞の対象／児童の健全育成に関し、児童福祉施設、地域組織(母親クラブ、子ども会等)、家庭相談員、里親等の活動の具体的実践報告。
- 受賞／数納賞1編(賞状と賞金30万円)、佳作4編(賞状と賞金各5万円)。佳作に準ずると評価された報告は奨励賞(賞状と賞金3万円)を設ける。
- 申込・問い合わせ先／(財)児童健全育成推進財団 150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1 こどもの城10階 Tel.03-3486-5141 E-mail fpsgc@jidoukan.or.jp

高木仁三郎市民科学基金

- 【1 国内の個人・グループへの調査研究助成】
- 受付期間／11月1日(木)～12月10日(月) 当日消印有効
- 助成の対象となる団体／一般の市民や市民グループも対象。
- 助成の対象となる活動／「市民科学」にふさわしい調査研究や、その調査研究と密接に関係するワークショップ・シンポジウムなどの開催費、調査研究の成果発表にかかわる諸費用等。
- 助成の額／1件あたり上限200万円。
- 問い合わせ先／高木仁三郎市民科学基金(事務局:菅波 完) 160-0004 東京都新宿区四谷1-21 戸田ビル4階 Tel.070-5074-5985 Fax.03-3358-7064 E-mail info@takagifund.org ホームページ <http://www.takagifund.org>
- ※【2国内の個人への研修奨励(研修・留学などへの助成)】と【3アジアの個人・グループへの調査研究助成アジア枠】は随時募集中。詳細はお問い合わせを。

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。(財)助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858 ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>

今特集 市民活動団体をバックアップする!

明和町に広がる「ポスター・チラシ情報掲示協力店」の輪

広報のバックアップ

めいわ市民活動サポートセンターでは、平成 16 年から明和町内の事業所に、市民活動のポスター掲示やチラシを置く場所の提供を働きかけてきました。

平成 19 年度はこの取り組みを一步進め、「掲示協力店」のシールを独自に作成し、市民活動団体の広報場所の確保と拡大に努めています。

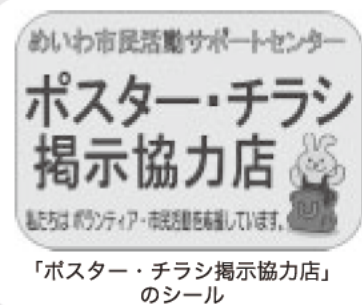
「掲示協力店」シールのめざすもの

市民活動団体のポスターやチラシの掲示場所として協力いただいた事業所をサポートセンター通信でご紹介するとともに「ポスター・チラシ掲示協力店」のシールを発行しています。



このシールは「事業所が市民活動・ボランティアを応援しているというアピール」・「サポートセンターのアピール」・「市民活動やボランティアをしている方たちへのアピール」といった多方面の意味を持たせて、地域に根ざした広報の土壌づくりを目指しています。

今夏より明和町内の 30 の事業所に理事が足を運び、趣旨を説明するなど積極的に協力の呼びかけを行ってきた結果、約 20 の事業所から「掲示協力店」の申し出をいただいで、郊外型の大型店やコンビニなどにも市民活動への応援の輪が広がっています。



今後は明和町に接する地域の事業所へも広げていくことを考えています。

問い合わせ：めいわ市民活動サポートセンター
 〒515-0332 三重県多気郡明和町馬之上 944-5
 E-mail hearvo@ma.mctv.ne.jp
 TEL 0596-52-7129 FAX 0596-52-7739
 URL : <http://www.ma.mctv.ne.jp/~hearvo/>

中間 支援 みえ県民交流センターへの指定管理者制度導入に関する懇談会

本懇談会は、三重県が「みえ県民交流センター」の指定管理者制度導入について有識者等との意見交換の場として 9 月に設置されました。「三重県の中間支援センターの目指すべきあり方」を検討する研究会と平行して開催され、主に「みえ県民交流センター」の具体的な管理や運営について意見交換を行う予定です。

第 1 回懇談会が 10 月 9 日に開催されました。指定管理者として実際に施設運営に携わる方が多いため、その経験から施設維持管理業務の受託の現状や使用料金制導入の可否、また人件費を考えると効率的かつ必要な組織体制とスタッフ数といった細かなところにも意見提出がありました。



傍聴可能ですので、関心のある方はぜひお越しください。

《第 2 回懇談会日程》

【日時】11 月 6 日 (火) 午後 2 時～午後 4 時
 【場所】みえ県民交流センター 交流スペース

問い合わせ：三重県生活部 NPO 室
 〒514-0009 三重県津市羽所町 700 番地 アスト津 3 階
 TEL 059-222-5981 FAX 059-222-5971
 E-mail seiknpo@pref.mie.jp
 URL : <http://www1.mienpo.net/npot/>

隔月 コラム NPO 室認証担当の NPO 法人知っ得情報

《監事のしごと》

「この事業報告書でも漏れてる。」

NPO 法人から毎年度提出してもらう書類の一つに「前事業年度の役員の名簿」があります。この書類から監事の名前が漏れている事例が続いたときのことです。



担当の古川明郎です

NPO 法人の役員といえば、理事と監事。役員名簿には、当然、監事の名前も書いてもらう必要があるのですが、差し替えを依頼しました。すると、「監事は書かなくていいと以前指導された。」と納得いかない様子。どうも登記申請時にそういうやりとりがあったようです。たしかに、理事は登記されますが、監事は登記されません。

ただ、監事が漏れてしまう事情はそれだけではありません。法人設立相談などで説明していると「監事って、会計監査のことでしょ。」とよく言われます。しかし、監事の職務には、会計監査だけでなく業務監査も含まれます。総会を招集する権限さえあります(法第 18 条)。

つまり、監事は、理事の対外行為や業務執行の妥当性をチェックする重要な役割を担っているのです。

▶▶▶▶▶ がんばれネットワーク ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうにつながっているのでしょうか。音訳ボランティア歴約30年という井上苑枝さんからバトンが渡ったのは、防災と災害救援の活動を行っている松野 博さん。「防災一座」というユニークな名前で、カンパン料理教室や体験型防災教室などを行っています。

防災一座四日市市で旗揚げ

……松野さんの防災活動について教えてください。
 はい。私が代表をしている防災一座は四日市市や菟野町などの三河地区、三重県北勢地域をホームタウンに、防災と災害救援をテーマに、みんなが寄り添えるまちづくりに挑戦しています。2003年の1月に一緒に活動できそうな知人に呼びかけて仮称で活動を始め、翌2004年5月に総会を行って、正式に発足しました。現在、メンバーは15名、会員募集中です。
 ……防災活動をまちづくりに応用しているのですか？
 活動のテーマは「命の輪、地域のふれあいの輪を広げるまちづくり」です。防災や災害救援について最初から詳しい人なんて、一人もいません。だからこそ、みんなでよりあって、それぞれの職業や人生経験、知恵、知識、資格、技術を持ち寄って、協力しながら学びあい、実践することで、この地域を少しでも災害に強いまちにしていきたいと考えています。そのための具体的な活動として取り組んでいるのが地域防災活動。イベントや防災教室などを行っています。最近では小学校や社会福祉協議会などからの依頼で子どもたちを対象にした防災教室を行う機会もいただいています。
 ……新聞などに取り上げられることで依頼が来るのですか？
 クチコミや知人からの依頼が多いです。四日市市の総合防災訓練や菟野町で行われるイベント「けやきフェスタ」に参加していますから、その辺りで少しずつ活動を知ってもらっていると思います。
 ……活動日は？
 イベントなど、人手がいる活動は月に1～2本に絞るようにしています。メンバーの負担にならず、かつ活動が散漫にならない工夫です。もちろん、そう言っていない時もありますが、小学校の防災教室などは平日になるので、先方に幾つか候補日を挙げてもらい、メンバーで調整しています。
 ……仕事をしながら、平日の活動を行うのは大変でしょう？
 ボランティア休暇を率先して取るようにしてくれる会社ならいいのですが、なかなか休暇が取り難い会社もありますからね。私は自営業なので、少しは融通が利きます。
 ……活動が忙しすぎると、メンバーの熱意を持続させるのが難しくありませんか？
 家庭や仕事の事情があって、なかなか集まりにくいので、そこは苦

労しているところですね。でも、無理矢理来てもらうと、最初に抱いていた気持ちからずれてしまうので、参加できる人だけで、活動の幅を絞りながら維持しています。
 ……熱意をつなぎ止める方法は？
 それは僕も知りたい(笑)。メンバーとお話したり、会議の時にできるだけ美味しい物を持ってきたりすることかな(笑)。でも、イベントなどで子どもたちが笑って、寄ってきてくれるとメンバーたちも「嬉しい」と言いますね。
 ……資金面は？
 調査研究費や防災教室の必要品などは助成金や寄附金をお願いしたり、若干、参加費をいただいたりしています。それでも赤字になる場合は会員からいただいている会費・通信費で、また、講演費などをいただける場合はできるだけお受けして、運営費などに充てています。

タマゴの小道で、体験型防災教室

……防災一座が行う防災教室について教えてください。
 私たちの小学校の時の防災訓練って「地震だ、机の下にもぐれ!」と言われた後、しゃべらずに廊下に並んで、数分以内に校庭に逃げるというプログラムだったでしょう。でも、その訓練は現実に即していないということが阪神・淡路大震災以降、わかったわけです。大地震が来たら、学校の廊下なんてガラスの海。中越地震などの時は校舎そのものが壊れました。そんな状況で、何も知らない子どもたちがスムーズに校庭まで出られるわけがありません。防災教室にしても備え付けの防災頭巾をかぶって、地震体験車に乗って、話を聞いて終わりというのが普通だったと思います。私たちの防災教室は今までの物にプラスアルファ。ゲームや体験型の選択肢を増やしています。だからもれなく休憩があります(笑)。身体を使うからね。
 ……ゲームや体験型の選択肢とは？
 防災訓練の時に「火事だ!119番!」と声を出す練習をしますが、例えば、それを大声コンテストにするだけでもゲーム感覚になります。あと、私たちがよく取り入れているのはタマゴの小道です。
 ……タマゴの小道？
 学校などの廊下にブルーシートを敷いて、その上にタマゴのカラをばらまきます。それを踏まないように、ハダシで歩いてもらいます。先程も言いましたが、大震災時には学校の廊下はガラスの海になります。タマゴのカラをそのガラスに見立てているのです。
 ……リアリティがあって、わかりやすいですね。
 本来なら、このカラはガラスなんだよと話ながら、実際の写真などを見せます。子どもたちも一生懸命、どうやって歩くか考えますよ。最終的には教室にあるものなどで取り除く方法や、厚手の雑誌などを使ってそこを歩く方法などを伝えています。それで最後はだいたい、カラのぶつけあい。いつもぶつけられています(笑)。

防災一座代表



松野 博さんに聞く



タマゴの小道

……タマゴのカラを集めるのも大変ですね。

地元のケーキ屋さんなどに協力してもらっています。これも身近な社会貢献です。一度使ったカラは肥料にしています。最近は再利用できるように発泡スチロールのカケラを使っています。

……話を聞くだけでなく、参加できるのがいいですね。

遊びながら、五感で覚えてもらうことが大切かなと思います。そのためシミュレーション型の体験教室です。休憩の時に、あらかじめ作っておいたカンパンを材料にしたお菓子を食べてもらい、それを入り口に防災袋の内容について考えるなど、子どもたちとの時は特に、興味を持ってもらえるような流れを大切に考えています。

コンセプトは「防災は美味しい、楽しい、面白い」です。

……カンパンのお菓子とは？

油で揚げて、砂糖やカレー粉をまぶした揚げカンパンやチョコレート菓子のほか、カンパンを材料にしたハンバーグやおひたしなどのレシピもありますよ。

……カンパン料理ですか。誰が考えたのですか？

言い出したのは私(笑)。うちのメンバーが全員、食いしん坊だからですね(笑)。自治体や企業の防災備蓄はもちろん、個人の防災袋にもカンパンが入っているでしょう？入れ替えの時まで災害に遭わずにすめば残りますよね。もったいない。そこでどうやって食べているか聞いてみたら、「美味しくないなあ」と思いながら、修行のように食べている人が多かった。今のカンパンはそのままでも十分に美味しいのですが、水分が少ないのでちょっと食べにくいと思う人が多いようです。本来、カンパンは一緒に入っている氷砂糖を食べて、唾液を出して食べるのが正式な作法(笑)。それでも、小さな子や高齢の方には食べにくいでしょう。そこでもっと美味しく食べられるように工夫しようと思いました。最初はクラッカーのようにジャムやチーズをのせたり、スープのクルトン代わりに入れたりしました。それがどんどんユニークな世界になって、ついにはハンバーグやチョコレートができあがりました(笑)。レシピも公開しています。

……レシピを考えたのは？

メンバーみんなで、それに、食育分野で活動しているNPOなどに知人がいたので声を掛けて、共同開発させていただきました。学校などで防災教室を行う時に、子どもたちに作ってもらうこともあります。カレーに入れたり、パフェやクレープを作ったり。アイデアいっぱいですよ。あと、イベントなどでも試食会を行っています。

……イベントの時に食べ物があると、人集めにいいですね。

寄ってきてくれますね(笑)。特に子どもたちは「まず〜い、もう一個ちょうだい!(笑)」って来てくれるので、それをきっかけにコミュニケーションを取りながら、地震の写真を見てもらったり、頭を守るダンゴムシのポーズを教えたりします。

……楽しめる防災教室ですね。

コンセプトは「防災は美味しい、楽しい、面白い」です。こうしたやり方なら子どもや女性も主役になれるでしょう？今までの防災訓練はどちらかと言えば男性主役のイメージ。消火器や消防ホースで放水したり、瓦礫をどけて救助をしたり。もちろんそうした訓練が基本ですが、炊出し訓練というよりは料理教室というイメージの訓練があってもいいでしょう。女性や子どもが笑顔になれる訓練を考えた時に、防災クッキングは楽しいツールになったと思います。

……従来型の防災訓練を変えようと思ったのですか？

いいえ、そんな大それたことではなくて、考え方をちょっと変えてみただけです。バーベキューパーティーも裏返せば炊出し訓練です。災害時というのは、無人島に突然放り出されるわけではなくて、今いるここで起こることです。ゼロから火を熾すことから始めなくても、今あるものを上手く使えばいいし、そちらの知恵の方が面白いと思って取り組んでいます。

……発想の転換ですね。

日常生活で起こることはすべて災害時にも起こります。実は最近、アレルギーを持つ子どもたちをサポートしている団体と知り合って、いろいろ情報交換をしています。アレルギーの種類によってはカンパンが食べられない場合もありますから、災害時に食べられる食料の備蓄について、私たちにも声を掛けてくれたのです。

……アレルギーは命に関わる問題なのに、防災という分野ではなかなか考えられませんか。

アレルギーだけでなく、糖尿病など、常に薬が必要な持病や難病を抱えた人たちがいます。ひょっとしたら、私たちだってそうなるかもしれません。災害時用の薬や食料の確保を考えておく必要があるのに、防災や災害救援の枠組みの中だけで考えていると、多種多様な方向になかなか視点が広がっていかないのです。だから、今回のように当事者の皆さんから問いかけてもらうのは大切だし、嬉しいことです。私たちも病気の知識を得られるし、その団体も防災倉庫の備蓄品にアレルギー対応の物を入れてもらう活動ができますよね。Win-Winの関係です。こちらサービス精神旺盛なので、いろいろアイデアを出しています(笑)。

……他の団体とも上手く繋がっていますね。

周りの皆さんやスタッフのおかげです。本当にありがたいです。それぞれの団体が知恵を出し合いながら新しい物を作る。できた物は共有して使えばいい。そういう考え方です。

……柔軟ですね。

防災一座の活動が「今までのやり方では対応が難しいのでは？」という疑問からスタートしていますから、現実に基づいたことから考え始めようというスタンスです。アレルギーも、カンパンもそう。今までの訓練と少し軸をずらすだけで気付くことがたくさんあると思います。私たちがやっているのは防災を考える入り口づくり。子どもたちが防災教室で喜んでくれれば、その話を家に帰ってしてくれるでしょう。それがきっかけになって、家族で防災について話してくれればいいなって思います。

防災一座 Tel.&Fax.059-331-2256(松野)

松野 博さんはこの人を紹介します。

世古口文子さん

NPO法人めいわ市民活動サポートセンターの理事長として活躍されています。

市民活動・ボランティアニュースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1) 原稿はニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月10日までに送ってください。

(2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアニュースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。

Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp

転載を希望される場合は必ずNPO室に連絡してください。

お
ね
が
い

古紙100%、白色度83.5%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。